

プログラム番号	06066
---------	-------

平成18年度「国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラム」

【1. 大学の概要】

①大学名 研究科名	電気通信大学 電気通信学研究科		
②学長名	益田 隆司		
③所在地	〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1		
④担当者 連絡先	所属部局・職名	国際企画課 専門職員	
	担当者氏名	上田 美智子	e-mailアドレス ryugakusei-k@office.uec.ac.jp
	電話・FAX番号	電話：042-443-5114 FAX：042-443-5116	
⑤ホームページ URL	http://www.uec.ac.jp		
⑥大学院在学留学生数	164人（うち、国費留学生 48人）		

【2. プログラムの概略】

①プログラムの名称	ICT国際プログラム
②プログラムの形態	博士前期課程+博士後期課程（2+3年間）
③実施研究科・専攻	電気通信学研究科・情報通信工学専攻
	（所在地）東京都調布市調布ヶ丘1-5-1
④連携大学・研究科・専攻名	電気通信大学・電気通信学研究科 電子工学専攻 人間コミュニケーション学専攻
⑤受入れ学生数	博士前期課程 24人（うち研究留学生優先配置希望人数：2人） （うち日本人学生数：16人） 博士後期課程 12人（うち研究留学生優先配置希望人数：4人） （うち日本人学生数：5人）
⑥担当教員数	合計 22人（うち専任：22人、兼任：0人、非常勤：0人）
⑦研究科長(代表者)名	所属部局・職名 電気通信学研究科・教授
	研究科長名 萩野 剛二郎

【3. プログラムの内容】

■ プログラムの内容と特色

ICT国際プログラムは、情報通信（ICT）およびその関連分野（情報、通信、ネットワーク、セキュリティ、ヒューマンインタラクション、信号処理、エレクトロニクス、等）において、イノベティブな創造力、国際性、実践力に富んだ研究者・高度専門技術者を養成する〔博士前期課程＋博士後期課程〕の専攻横断プログラムである。ICT分野での国際的レベルの教員を多く擁する本学の強みを活かして、情報通信工学専攻、電子工学専攻、人間コミュニケーション学専攻の各専攻の教育課程と学内の先端ワイヤレスコミュニケーション研究センターおよびICT関連の研究ステーションの研究環境を有機的に活用して、基礎→展開→実践のステップに体系化した教育カリキュラムを提供する。

このプログラムの教育は、専門知識の学修については所属専攻が提供する専門科目によって行われ、一方、創造力・国際コミュニケーション力・実践力の育成については、研究センター・研究ステーションでの研究活動や、産業界の協力によって提供される種々の実践的科目を活用して行われる。以下に、本プログラムの特色を示す。

・ 留学生と日本人学生が融合して学ぶプログラム

プログラムの留学生と日本人学生の学生数をほぼ同比率とし、学生達が融合して学び切磋琢磨する教育環境とする。

・ 英語による講義

留学生の講義科目履修上の言語障壁を無くすと共に、日本人学生の語学力を養うために、基礎科目および展開科目において、十分な数の英語による講義科目を開講する（2007年度の英語による講義科目数は31科目であるが、年度を追って増加させる予定である）。さらに、他大学との単位互換制度による英語による講義科目もある。日本人学生および日本語の堪能な留学生については、英語による講義科目のみの履修に限定はしないが、博士前期課程では4科目以上、博士後期課程では2科目以上の英語による科目の履修を課す。

・ 実践力を養うインターンシップ

プログラム履修生は、博士前期課程の期間内に、最短でも4週間、可能な限り8週間以上の長期インターンシップを行う。なお、日本人学生には、海外インターンシップの機会を設け、国際的な環境での実践力を養う。

・ 国際性のある思考力・コミュニケーション力を養う技術討論

他大学、研究機関、企業、等からの研究者・技術者を加えた技術討論（招待講演、輪講、ゼミナール、等）において、日常から英語による発表、討論を行う環境において、国際的レベルのICT研究者・高度専門技術者に求められる思考力、概念理解力、プレゼンテーション力、対話力などを高める。

・ 研究センター・研究ステーションを拠点とする国際的活動

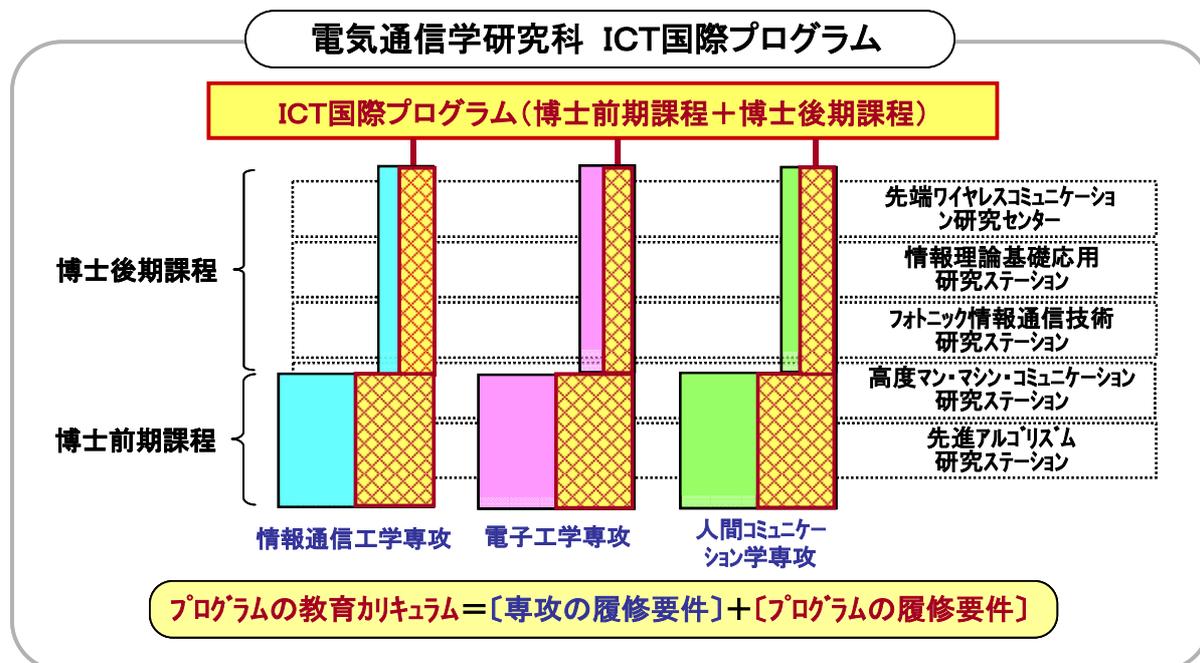
プログラム履修生は、博士前期課程・後期課程を通して、先端ワイヤレス研究センターまたはICT関連の研究ステーションに極力所属して、充実した研究環境において研究活動を行う。また、博士前期課程の段階から、国際会議での論文発表、国際的学術誌への投稿、など国際的な場に成果を発表する。

・ 留学生の日本語習得と日本文化理解

留学生には、日本語学習、日本文化理解などの機会を、国際交流推進センターにおいて提供する。

■ プログラムの教育システムと履修者選抜

ICT国際プログラムは、電気通信学研究科の情報通信工学専攻、電子工学専攻、人間コミュニケーション学専攻に入学し、このプログラムを希望した学生の中から選抜された学生に対する教育プログラムである。教育カリキュラムは、各専攻の履修要件を満たした上で、このプログラムの特徴的な履修内容を加えたものとなっている。研究に関しては、先端ワイヤレスコミュニケーション研究センターおよびICT関連の研究ステーションが連携して、国際的にトップレベルの環境を提供し、研究指導を行う。このプログラムの教育研究の構造を下図に示す。



■ 使用言語

このプログラムを履修する留学生は、英語のみでの教育と研究を行うことができる。また、日本人学生には極力英語を多用する環境とし、語学力の強化と共に留学生との交流によりコミュニケーション能力を高める。

なお、時間割・シラバスを始めとする教育情報や、留学関係の事務手続き情報は、日英2カ国語で提供される。

■ 修学者に期待できる効果及びフォローアップ体制

ICT分野では、国際性のある研究者・高度専門技術者への需要は極めて大きく、このプログラムを修了して学位を取得した学生の主たる進路は、国内外のICT関連の研究機関、企業、教育機関、などである。

いずれの進路の場合も、高度な知識・技術力と共に創造力・実践力・国際性を身につけていることは、ICT分野の研究者・高度技術者には特に強く求められる資質であることから、修学生の大きな付加価値となる。また、ポータレス化は益々進んでいることから、国際的な人脈形成ができることは、このプログラム修了生の大きな強みとなる。

専門分野ごとのフォローアップは、研究センター・研究ステーションごとの人脈ネットワークを通じて行われるが、さらに留学生に対しては国際交流推進センターおよび目黒会（本学の同窓会組織）海外支部の活動を通して行われる。